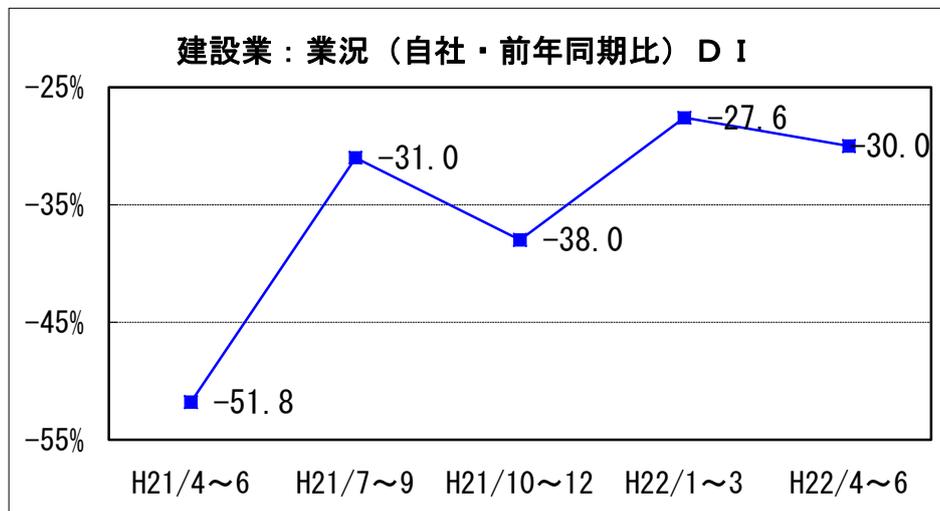


3. 建設業の動向

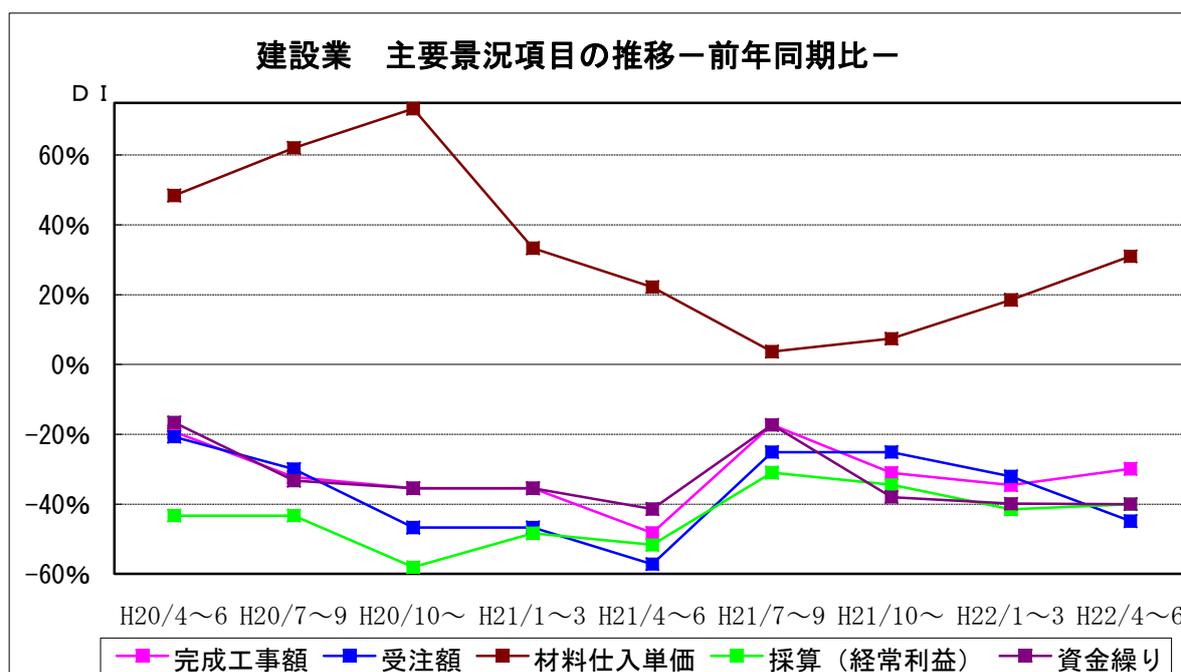
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス30.0。前期のマイナス27.6から2.4ポイント下降、やや悪化。来期見通しは、マイナス24.2と回復の見込み。



建設業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

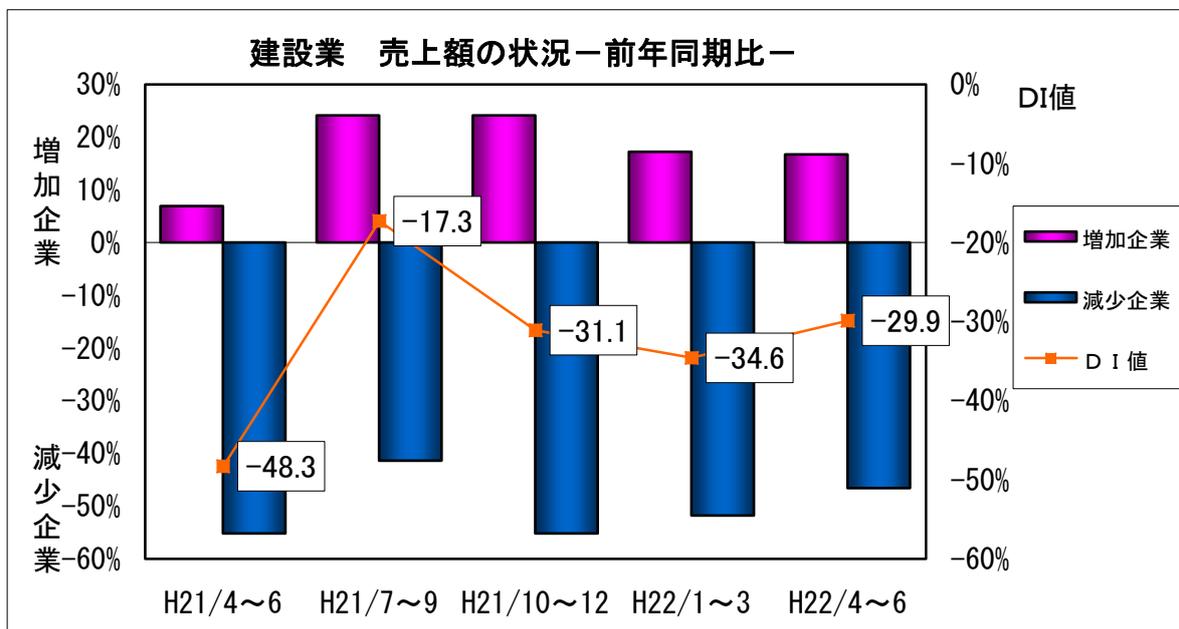
	前々期 (21年10月~12月)	前期(A) (22年1月~3月)	今期(B) (22年4月~6月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
完成工事額	▲31.1	▲34.6	▲29.9	4.7	▲46.7
受注額	▲25.1	▲32.1	▲44.9	▲12.8	▲39.3
材料仕入単価	7.4	18.5	31.0	12.5	32.1
採算(経常利益)	▲34.5	▲41.5	▲40.0	1.5	▲41.4
資金繰り	▲38.0	▲39.3	▲40.0	▲0.7	▲26.6



(2) 主要項目の概況 (前年同期比)

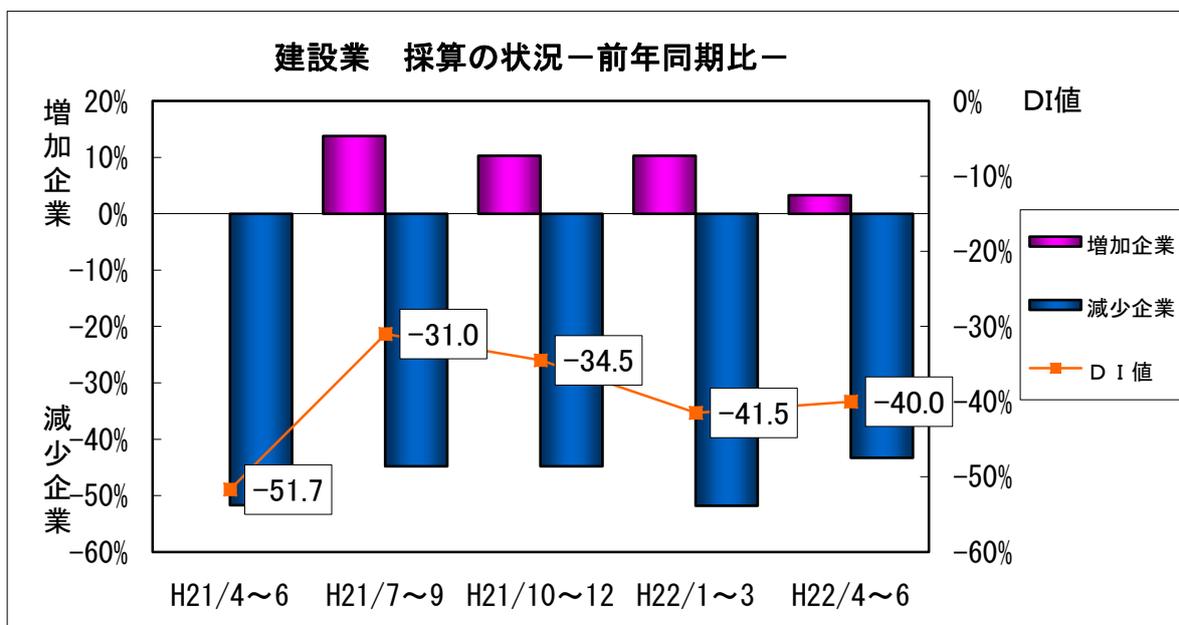
①完成工事額 (前年同期比)

今期の完成工事額DI値は、マイナス29.9。前期のマイナス34.6から4.7ポイント上昇、小幅な回復。来期はマイナス46.7と大幅な悪化の見込み。



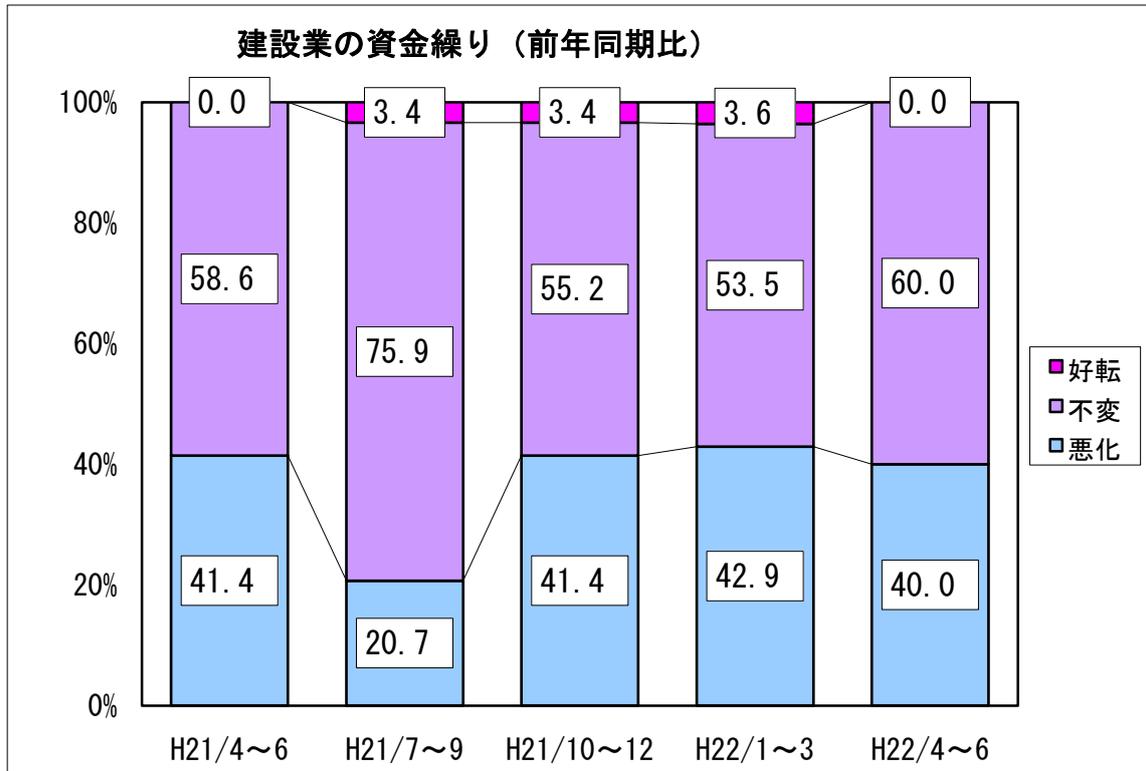
②採算 (前年同期比)

今期の採算DI値は、マイナス40.0。前期のマイナス41.5から1.5ポイント上昇、やや回復。来期見通しは、マイナス41.4とやや悪化の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I値は、マイナス 40.0。前期のマイナス 39.3 から 0.7 ポイント下降、やや悪化。来期見通しは、マイナス 26.6 と大幅な回復の見込み。

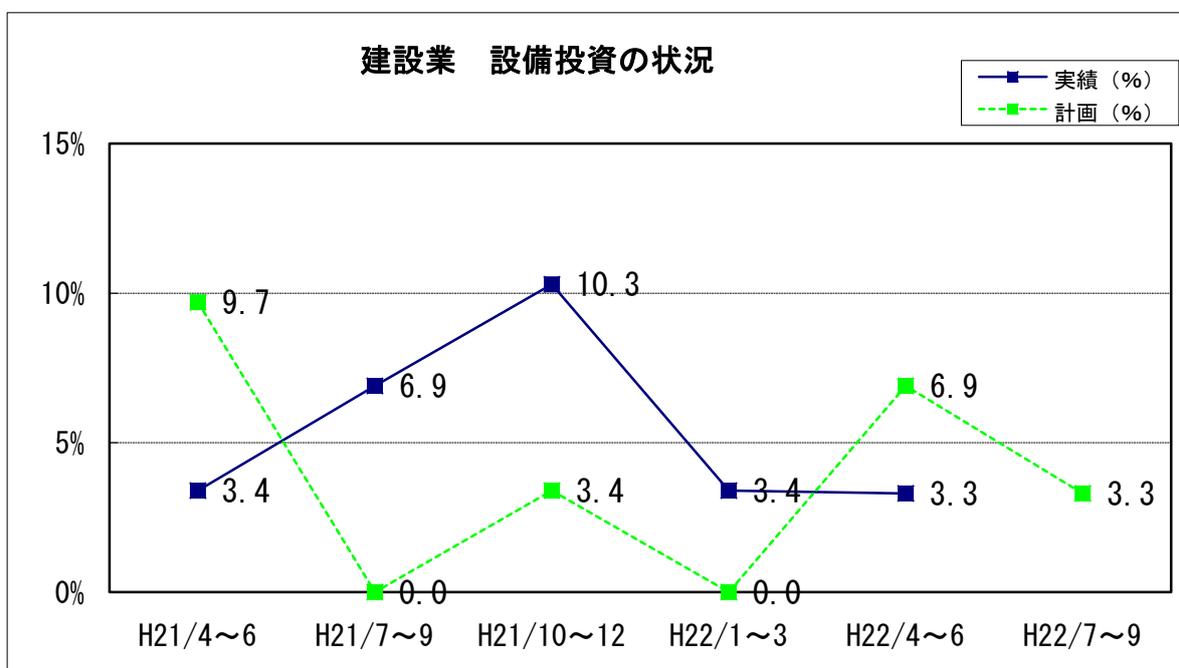


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土 地	建 物	建設 機械	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福 利 厚 生 施 設	その他	
前期実施 (実数)	1	0	0	0	1	0	0	0	0	28
(%)	3.4	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.6
今期実施 (実数)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	29
(%)	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	96.7
来期計画 (実数)	1	0	0	1	1	0	0	0	0	29
(%)	3.3	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.7

今期設備投資を実施した企業は1社(3.3%)。前期(平成22年1~3期)の実施企業1社(3.4%)から横ばい。来期も1社(3.3%)が、機械設備、車両・運搬具への設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「民間需要の停滞」 (前期 76.9%→今期 72.4%)
- ・ 「官公需要の停滞」 (前期 57.7%→今期 55.2%)
- ・ 「請負単価の低下、上昇難」 (前期 46.2%→今期 41.4%)
- ・ 「取引条件の悪化」 (前期 26.9%→今期 34.5%)

となっている。

